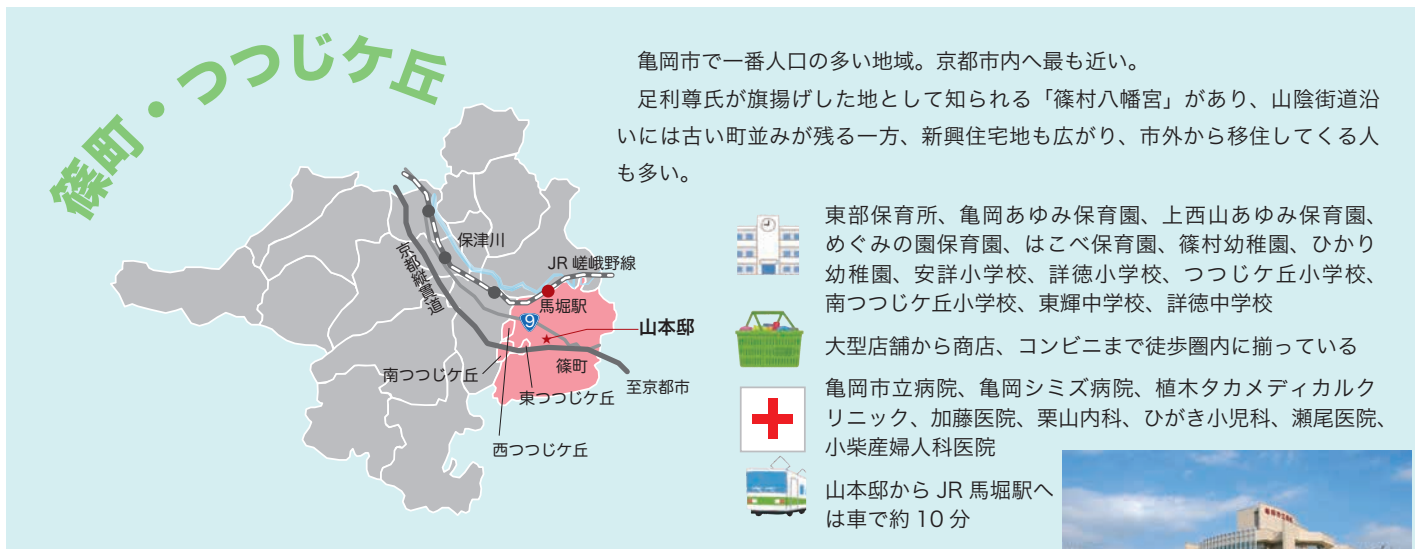




temae miso

篠かぶら



千枚漬けの材料にもなる聖護院かぶら。甘くみずみずしい、ち密な肉質に歯切れの良さが特徴。盆地特有の昼夜の気温差、濃い朝霧がかぶらにとって最適な地域で晩秋には町内の至る所でかぶら畑を見かける。

ふるさと学習で「篠かぶら」を収穫する安詳小学校の児童たち。地元のことをもっとよく知るために、亀岡の小学校ではその地域に沿った様々な学習が行われています。



つつじヶ丘の町並み

感じています。



この町でお店を開き、私自身も厳しく、温かく育ててもらっていると感じています。

亀岡での暮らしは、京都市内と比べると便利とは言えないけれど、決して不便とは感じない。日常生活のほとんどは事足りているし、20分程で京都市内へも行ける。まちの規模は私にとって小ぶりで程よい。

小ぶりなまち

子どもさんの成長も楽しみになってきました。



亀岡市のふるさと納税返礼品となっている直径 15cm のモンブラン。



トロッコ亀岡駅

京都市の嵯峨嵐山から亀岡までの 7.3km を結ぶ観光列車。毎年多くの観光客が訪れる。「トロッコ亀岡駅」という名前だが、実際は JR 馬堀駅に近い。



京馬車

トロッコ亀岡駅のすぐそばにある観光馬車。保津川下り乗船場まで行くコースと保津川の山本浜を周遊するコースがあり、子どもたちにも大人気。



お菓子で亀岡の魅力発信

町もお店も私にちょうどいいサイズ

山本 美紀さん

食材に魅かれて

フランスのお菓子は、各地方の食材に合ったもので作られています。私が学んだブルターニュ地方も特産の有塩バターを活かしたお菓子が発達しました。

いずれお店を開くつもりでしたので、この地域は黒豆や栗など創作意欲をかき立てる食材が豊富にあることが魅力的でした。

産地のブランドカ

私が今一番気に入っているのが栗。昨年は取れたての丹波栗を使ったモンブランが亀岡市のふるさと納税の返礼品に採用され、思っていた以上の注文をいただきました。この地域の栗の評価の高さを改めて感じました。お菓子作りを通じて、亀岡の魅力発信のお役に立てればと思っています。

まちのケーキ屋さん

身近にある土や川とふれあいながら、私たちの目指す子育てをし



2坪の小さな店内には素材にこだわったお菓子やケーキが所狭しと並び。誕生日ケーキや新作のケーキを目当てに近所の常連さんが買い求めにくる光景は地域にすっかり馴染んでいる。

ています。またお店には、私を「みきちゃん」と呼ぶ近所の幼い子たちが一人でつかいに来てくれたり、道に迷っているお客さんをここまで案内してくれたり。今では、近所の

山本 美紀さん (40 歳) パティシエ
出身地：愛知県
夫 (48 歳) 会社員
出身地：滋賀県

子ども：9 歳
移住歴：10 年
移住前の住所：京都市

01